

# 令和6年度 学校評価(学校関係者評価)

(様式2)

学校名	加古川市立別府中学校
-----	------------

**1 教育目標** 一人一人を大切に、共に生きる心と力を育てる 笑顔の花咲く学校をめざして

**2 重点取組項目**

- ・自ら学び、互いに高め合う生徒の育成
- ・体の健やかさと、「命」を大切にする生徒の育成
- ・教職員の資質向上
- ・思いやりの心を持ち、自他を大切にできる生徒の育成
- ・特別支援教育の推進
- ・家庭・地域との連携(ヨコの連携とタテの連携)

**評価基準**

A:できている

B:だいたいできている

C:あまりできていない

D:できていない

E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策
(1)「確かな学力」の育成	・主体的に学びを深める授業の工夫 ・基礎基本の定着	B	自己肯定感を高め、聴く力を育成する授業の工夫として、協同的探究学習の手法を取り入れ、ICTを有効活用する。
(2) 思いやりと主体性の育成	・互いに認め合い、支え合う学級づくり ・目的を明確にした学校行事の推進	A	各行事の目的を再検討・共通理解し、生徒の自主性・自発性を喚起して、達成感が味わえる活動をめざす。
(3) 望ましい生活習慣の育成	・あいさつの奨励 ・安心・安全な学校づくり	A	引き続き、清々しい挨拶、TPOをわきまえた言葉遣い・服装を呼びかける。目的に応じた実効性のある避難訓練を実施する。
(4) 教職員の資質向上	・人間性を高め、生徒理解を深めるための自己研鑽 ・人権・倫理意識の高揚とコンプライアンスの徹底	B	人権意識を高める研修を充実させる。前例踏襲にとどまらず、教育活動のアップデートに主体的に取り組む。
(5) 開かれた学校づくり	・家庭・地域への積極的な情報発信 ・学校園連携ユニットでの相互交流	B	引き続き、積極的な情報発信に努める。

自己評価の適切さ(関係者評価)	達成状況
授業でこそ出来ることと、デジタルサービス等で代用できることを、効果を検証しながら使い分けていけば良いと思う。	B
なかなか難しい時世ではあるが、先生方には失敗を恐れることなく、生徒の成長につながることに挑戦してもらいたい。	A
学校に行きにくい生徒へのフォローに様々な形で取り組んでおられる。根本的に人員を増やすことが必要なのではないか。	A
働き方改革と言いながら、勤務時間をオーバーする状況の中で苦勞されている。業務改善が進むことを願う。	B
これまでは地域住民と合同でクリーン作戦をやってきたが、今できるやり方を模索してもらえば良い。	B